

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ホースプロコース		
科目名	騎乗トレーニング						必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	216	時間	後期	172	時間	授業時間数合計	388 時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間	※授業50分を1時間とする。	
担当講師	原田 真吾・郷原恵子・鈴木千尋								
	実務経験	有	乗馬インストラクターとして23年。有資格者として乗馬クラブ会員や学生の指導にあたる。						
授業概要	乗馬の基礎の修得、馬の動きに対する知覚力を身につける。馬とのコミュニケーションのとり方、マナーを学び、馬との信頼関係を築く。							授業形式	実習
到達目標	馬具の用途を理解し、馬の個々の馬装を正確に行う。 3種の歩法（常歩・速歩・駈歩）を正しい姿勢で騎乗する。 競技会に参加し、競技と使役の実践経験を積む。 全国乗馬倶楽部振興協会が発行する乗馬技能3級ライセンスを取得する。								
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING ・スタンダード馬場馬術 ・障害馬術の基本 ・Real Riding								
授業計画時間数	授業内容								
1~12	騎乗の服装（装具）とマナーについて。馬の手入れや馬装方法を学ぶ。								
13~24	馬の乗り降りの練習。ハンドリング、曳き馬の方法を習得する。								
25~36	騎手の姿勢とバランス訓練。								
37~48	馬上体操訓練。								
49~60	馬具の名称や使用方法を理解する。馬上体操訓練。								
61~72	扶助操作の理解。主扶助(手綱扶助と脚扶助)で馬を動かす。								
73~84	常歩から速歩への移行。停止や誘導をスムーズに行う。								
85~96	騎手の姿勢とバランス。運動時の馬のリズムとテンポを覚える。								
97~108	部班運動や号令について。								
109~120	図形運動を取り入れる。								
121~132	速歩、軽速歩での回転や軽速歩の手前を正しく覚える。								
133~144	駈歩発進と持続方法を学ぶ。								
145~156	競技会（ホースプロ馬術競技会）の練習。競技の種類やルールの確認。								
157~168	エントリーした競技およびライセンス取得に向け経路練習。								
168~179	競技会（ホースプロ馬術競技会）の参加。使役の実践。								
180~191	蹄跡での駈歩、回転運動の習得。部班運動での駈歩。								
192~203	競技会のビデオ動画鑑賞。各自の反省と今後の目標を確認。								
204~216	競技会反省点・各自の弱点強化。								
217~228	騎乗フォームやバランスの改善。								
229~240	ロンジング（調馬索）の方法を学ぶ。速歩での曳き馬を行う。								
241~252	班分けを行い、各自のレベル・目標にあった課目の練習を行う。								
253~264	横木通過やパイロンを利用した練習を行う。								
265~276	課目の練習を行い、馬場馬術の扶助を学ぶ。								
277~288	馬場馬術競技課目への理解を深め、より馬場的運動に近づける。								
289~300	馬場馬術・障害馬術を理解し、各自の目標を見定める。								
301~312	各自種目別にトレーニングを行い、反復練習を行う。								

313~324	障害飛越の基本について学ぶ。			
325~336	競技会（ホースプロ馬術競技会）練習。競技の種類やルールの確認。			
337~348	エントリーした競技およびライセンス取得に向け経路練習。			
349~360	競技会（ホースプロ馬術競技会）の参加とその練習。使役の実践。			
361~372	競技会のビデオ動画鑑賞。各自の反省と今後の目標を確認。			
373~388	進級（次年度）にあたっての心得・注意事項			
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・チェックテストや実技試験、馬術競技会成績			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない
成績評価基準	A評価	出席率95％以上・実技試験評価 優れている（90点以上）・平常点 優れている		
	B評価	出席率94～85％以上・実技試験評価 普通（89～80点以上）・平常点 普通		
	C評価	出席率84～75％以上・実技試験評価 やや劣る（79～70点以上）・平常点 やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		